

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【公開番号】特開 2019-37036 (P2019-37036A)

【公開日】平成 31 年 3 月 7 日 (2019.3.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-009

【出願番号】特願 2017-155871 (P2017-155871)

【国際特許分類】

H 0 2 K 9/28 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 9/28 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 20 日 (2019.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筒状のヨーク (10) と、
前記ヨークに固定される磁石により構成されるステータ (30) と、
前記ステータに対し回転可能に設けられ、コイル (42) が巻かれたロータ (40) と
、
前記ロータに固定されるシャフト (50) と、
前記コイルに電氣的に接続され、前記シャフトと共に回転する整流子 (60) と、
前記整流子に摺接し、前記整流子を介して前記コイルに電流を供給するブラシ (70) と、
前記ロータ側から前記整流子側に向かい内径が次第に小さくなるテーパ状に形成されて
径方向外側の外縁が前記ヨークに接触または隣接する漏斗部 (81)、前記漏斗部の内側
から前記ブラシに向けて風を吹き出す吹出口 (82)、および、前記漏斗部から前記ブラ
シに向けて延び、前記漏斗部の内側から前記吹出口に風を案内する案内部 (83) を有す
る冷却風ガイド (80) と、を備える電動モータ。

【請求項 2】

前記冷却風ガイドは、前記漏斗部の内周縁から軸方向に延び、前記整流子の径方向外側
を囲うコンミカバー (84) をさらに有する、請求項 1 に記載の電動モータ。

【請求項 3】

前記吹出口は、前記ブラシの形状に対応するように、前記漏斗部の内周縁から径方向外
側の途中まで設けられる、請求項 1 または 2 に記載の電動モータ。

【請求項 4】

前記ヨークの径方向の一方の部位と他方の部位とを接続し、前記シャフトを回転可能に
支持するフロントプレート (20) をさらに備える、請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 つに
記載の電動モータ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

上記目的を達成するため、請求項 1 に係る発明は、
筒状のヨーク（ 1 0 ）と、
ヨークに固定される磁石により構成されるステータ（ 3 0 ）と、
ステータに対し回転可能に設けられ、コイル（ 4 2 ）が巻かれたロータ（ 4 0 ）と、
ロータに固定されるシャフト（ 5 0 ）と、
コイルに電氣的に接続され、シャフトと共に回転する整流子（ 6 0 ）と、
整流子に摺接し、整流子を介してコイルに電流を供給するブラシ（ 7 0 ）と、
ロータ側から整流子側に向かい内径が次第に小さくなるテーパ状に形成されて径方向外
側の外縁がヨークに接触または隣接する漏斗部（ 8 1 ）、漏斗部の内側からブラシに向け
て風を吹き出す吹出口（ 8 2 ）、および、漏斗部からブラシに向けて延び、漏斗部の内側
から吹出口に風を案内する案内部（ 8 3 ）を有する冷却風ガイド（ 8 0 ）と、を備える。